



事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱とめ プラス			
保護者評価実施期間	令和 7 年 3 月 6 日		～	令和 7 年 3 月 21 日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
従業者評価実施期間	令和 7 年 3 月 6 日		～	令和 7 年 3 月 14 日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 18 日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援プログラムや放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿ったプログラムを考え、集中して取り組めるようにしている。 ・プログラムが固定化しないよう、季節の行事を取り入れて工夫している。 	支援者と保護者との情報共有に努めるとともに、子どもたち1人1人の課題に向き合った支援計画を作成していきます。
2	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	管理者への報告の徹底、共有しているご家族の緊急連絡先やかかりつけ医に対して、速やかに連絡することを意識して行っている。	ヒヤリハット報告書をさらに活用して、状況の詳細な把握に努めていきます。
3	事業所の支援に満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・休日や長期休業中には外出や買い物学習、調理実習などの活動を取り入れ、社会経験を積めるように工夫している。 	これからも保護者のニーズを把握し、より細やかな支援をめざしていきます。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	活動中に交流の機会を設ける事が難しいため。	交流の機会につなげていけるよう、担当者会議などの際に、児童館や学校の先生とコミュニケーションを取るようになっていきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	現状、機会を設定するのが厳しい。	事業所には、ペアレントトレーニング研修修了者が2名在籍しているので、実施していきたい。また基幹センターでの受講も検討していきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	ホームページやブログで情報を発信しているが、保護者への周知徹底ができていない。	ブログやお便り等で保護者への周知や説明の方法をさらに徹底していきます。